

Bellflower



神戸薬科大学

図書館ニュース

No.48 2017. 4



Part 1 (新着資料から)

<BOOK> 『糖鎖の新機能開発・応用ハンドブック 創薬・医療から食品開発まで』

(エヌ・ティー・エス)

ヒトの遺伝子構造が解明されたにもかかわらず、分子レベルで説明することができない生命現象や、発症機構のわからない病気が依然として存在します。これを解明するために、「糖鎖」が注目されています。近年、糖鎖の異常と病気の関連が数々報告されており、糖鎖機能の解明によりゲノム情報だけでは克服できなかった病気が治癒する日が来ることが期待されています。さらに、糖鎖は生命科学の分野だけに留まらず、エネルギー分野、材料科学分野においてもその重要性が脚光を浴びています。このような時代の要請に応えるために、本書は、①“生命機能を担う分子”としての糖鎖を対象にした生命科学の最前線、②糖鎖の構造解析・プロファイリングおよび

糖鎖の合成と機能、③医療、ナノテクノロジー、食品分野における“マテリアル”としての糖鎖の産業応用の可能性を大系化する構成となっています。糖鎖生物学の分野で活躍する研究者と産業界で活躍する研究者の連携により完成された本書は、基礎生命科学の視点から解説された内容と産業応用の側面から解説された内容が1冊にまとまっています。したがって、糖鎖研究者だけでなく、これから糖鎖研究を始めようとする研究者や産業応用のための有用な物質を探す研究者にとっても座右の書として活用いただけると思います。

教授 北川 裕之
(生化学研究室)

<BOOK> 『Macmillan Readers』

(Macmillan)

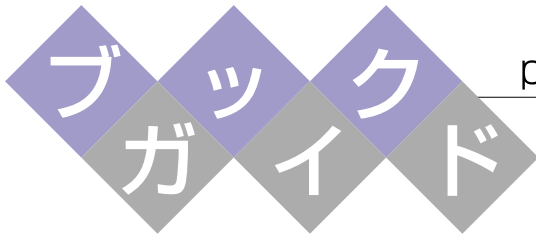
英語の効果的な学習法として近年注目を集めている多読。その多読用に特化された読本としては本学にもすでに Oxford Bookworms Library が収められていますが、このたび新たに Macmillan Readers も加わって、ラインナップがさらに充実しました。Macmillan Readers の特長は、たとえば「英検 2 級・TOEIC500 点ならばレベル 4」と、日本人英語学習者が自分に適したレベルを各種検定試験の結果から確認できる点です。該当するレベルの読本リストの中から興味を湧くタイトルを手にとってみましょう。映画『プリティ・プリンセス』や『ジュラシック・パーク』の原作も、マイケル・ジャクソンやダイアナ妃の伝記もありますよ。一冊はどれも

50 ページ前後と薄くて、洋書を丸ごと読破できた成功体験の心地よさから、次々と新しいタイトルに手を伸ばしたくなるはず。その好循環が生まれればしめたもの。気づかないうちにあなたの英語力は向上しています。TOEIC 対策にお悩みの皆さんにも、多読は TOEIC のリーディング部門はもとよりリスニング部門のスコアも高めてくれる、というデータがあることをご存知ですか？ 多読は読むのみならず書く・聴く・話す全技能の根幹部の栄養分となるからです。遠回りに見えて実は多読は TOEIC スコアアップの近道でもあるのです。

非常勤講師 高木 一幸

もくじ C O N T E N T S

ブックガイド part1 (新着資料から)	神戸薬科大学図書館歳時記……………	6
北川裕之・高木一幸……………	グラフと表で見る図書館統計……………	7
ブックガイド part2 (専門分野別) 坂根稔康 ……	薬剤師のための DI 資料 (31) 渡 雅克 ……	8
植物のちから 沖 和行 ……	2017 年度学術雑誌について・お知らせ ……	8
受入図書から……………		4~5


 part 2 (専門分野別)
 BOOK GUIDE

 化粧品科学：
 化粧品と香水に関するサイエンス

 教授 坂根 稔康
 (製剤学研究室)


「化粧品」に関する公的な定義はないが、その名称から化粧品と香水・香料の総称であることは想像されるであろう。「化粧品」とは、一般消費者になじみがある名称としては「化粧品」、「薬用化粧品」、「香水」などの製品の総称とされる。「医薬品、医療機器等の品質、有効性及び安全性の確保等に関する法律」(薬機法と略称される。2014年に「薬事法」の名称が変更された。)第2条第3項によると、「化粧品」とは、「人の身体を清潔にし、美化し、魅力を増し、容貌を変え、又は皮膚若しくは毛髪をすこやかに保つために、身体に塗擦、散布その他これらに類似する方法で使用されることが目的とされている物で、人体に対する作用が緩和なもの」と定義される。つまり、化粧品は薬機法の規制を受ける。医薬品とは異なり、「人体に対する作用が緩和」であるため、効能・効果として使用できる表現も「肌につやを与える」等の56項目に限定されている。

皮膚に関する研究は他臓器の研究と比較すると遅れているが、様々な実験機器や測定装置の発展を背景に、最近、その機能や生理・生化学に関する研究が進展しつつある。化粧品科学に関する書籍は多くはないが、以下の書籍をおすすめする。

「化粧品科学」(石田達也、佐藤孝俊 編) 朝倉書店

初版が1997年でかなり古いですが、絶版となることなく、現在でも購入可能である。序論、総論、各論からなり、化粧品に関する基本的内容を網羅している。法規制や化粧品原料等に関しては、内容の古さは否めないが、化粧品科学の基本を理解するために有用な書籍である。

**「化粧品科学ガイド(第2版)」(田上八朗 他 監修)
 フレグランスジャーナル社**

化粧品の概要、皮膚・毛髪の生理と構造、有用性・安全性の評価法、原材料と製造法などの記述がある。化粧品に関する一通りの内容が含まれているが、他書と比べて、皮膚・毛髪の構造や生理が詳しく記述されている。化粧品を本格的に学びたい時に、まず読むべき本としておすすめである。

「コスメティックサイエンス」(宮澤三雄 編) 共立出版

基本的な内容も含まれているが、法規制や製造法、原材

料に関する記述が詳しい。研究・開発に携わる化粧品メーカーの研究者向けの書籍と思われる。化粧品メーカーへの就職を希望する場合には、一読の価値があると感じる。

「フレグランスジャーナル」フレグランスジャーナル社

フレグランスジャーナル社から出版されている月刊誌である。書籍ではないが、化粧品や香料・香水に関連する最新の情報や話題を知ることができる。例えば2017年1月号の特集のタイトルは「AGEs 研究の最前線」である。糖化ストレスと体内老化、特に皮膚の老化との関係に関する詳しい情報を得ることができる。本学図書館も2017年より本雑誌の購入を開始し、現在、図書館で閲覧可能である。フレグランスジャーナル社は化粧品やアロマに特化した出版社であり、化粧品科学、香り、アロマセラピー、エステティック、美容等に関する様々な書籍・雑誌を出版している。興味のある人はホームページ(<http://www.fragrance-j.co.jp/>)を参照してほしい。

本学では、4、6年次生対象の前期選択科目として、「化粧品学」が開講されている。化粧品、化粧品業界をよく知る非常勤講師3名が担当する。化粧品メーカーで、長年の研究・開発の経験を持つ講師、あるいは化粧品原料メーカーに長年勤められた講師陣である。化粧品に関連した科目を開講する薬系大学は少ない。筆者の知る限りでも、本学の他に3校程度である。ドラッグストアでは、化粧品類が併売されることが多いため、ドラッグストアに勤務する場合、化粧品や皮膚に関する知識はかなり有用である。また、軟膏剤、ローション剤などは皮膚に適用する医薬品であるが、その多くは局所作用を期待する製剤であり、薬用化粧品との共通点も多い。是非、「化粧品学」を受講して、化粧品に関する知識を身につけていただきたい。また、化粧品メーカーも薬学部卒業生を採用している。化粧品メーカーを卒業後の就職先の1つと認識して欲しいと感じている。

植物のちから



薬用植物園 沖 和行

本学には薬用植物園がありますが植物園の起源は薬用植物を栽培する薬草園だと言われています。大正時代に入るまでは人々は自然に生える植物を愛でる事はあっても植物を集め栽培しそれを見せるという文化は無く、日本で最初に作られたとされる植物園も見せるための園ではなく1684年に徳川幕府が当時のお殿様の健康を守るという目的で作られた「小石川御薬（おやく）園」（現在の東大附属小石川植物園）が植物園の起源とされています。

現在では薬草を栽培する園だけではなく様々な特徴を持った植物園が作られていますが、そのなかでも神戸市はその背面にそびえる六甲山に集約されるように性質の異なる4つの園がある事でも知られています。まず六甲山のいちばん西に位置し樹木だけを集めた神戸市立森林植物園、新神戸駅に近い世界のハーブが揃う布引ハーブ園、山頂付近には本来は2～3,000m級の山に登らないと出会う事のない高山植物を見る事の出来る六甲高山植物園、そしてあとひとつが本学の薬用植物園です。

そんな本学の薬用植物園に最近たくさんの方々の市民の方々が訪れていることをご存知でしょうか。

20数年ほど前に本学が「社会に大きく開かれた大学」という理念を掲げるようになり、その先陣を切って薬用植物園が一般に開放されるようになってからは様々な目的で訪れる利用者が増え、この数年の利用者数は年間1,000人を超えるまでに増え続けています、こうした園の開放による知識普及活動は市民の方々にとっても薬の起源となる薬用植物を知るまたとない機会、大学が市民と気軽に話題を共有できる貴重な接点にもなっています。

本学で薬学を学ぶ皆さんは薬用植物のもつ成分やその薬理作用という所からがスタートだと思いますが、植物の目線から成分などをひも解いていくと植物を分かり易く学ぶことが出来ます。植物の香りや味、色などの成分がどうして植物に含まれているのだろう…と考えると、それは人類よりもはるかに長い時間の中で植物は外敵や病気から身を守り、子孫を残し生き続けるためにひとつとして無駄のない力を作り出してきた事が見えてきます。その植物の力を私たち人類は薬としてだけでなく衣・食・住と毎日の生活のなかに取り入れてきました。食あたりを防ぐ意味でワサビやタデなどを薬味として用い、衣服も綿や麻など

の植物の繊維で通気性の良い快適な衣服が作られ、さらに生地を紫根や紅花といった植物から生み出される色で染める事で肌荒れや冷え症などから身体を守る目的で利用されてきました。そうした植物のほとんどは現在でも重要な生薬として扱われています。

赤い色を見ると興奮する、赤いリンゴを見ると美味しそうと感じる…これらは私たちの祖先が猿に近い頃に木に成る果実の食べ頃を色で感じ取った数少ない本能だといわれます。植物と人とのつながりは太古の時代から続いていて、植物を知ると薬学だけでなく人類の歴史や植物の生き方で見えてきます。市民の方々が薬用植物園を訪れる理由もそんな所にあるのかもしれない。

薬用植物園の活動も学内だけではなく、近隣の六甲高山植物園では「ぶらぶらガイド」として毎月1回、神戸市立森林植物園では「森の薬箱」という講座や「薬草染め教室」などの人気イベントとして多くの方に親しまれ年に30件ほどの依頼があり、来園者と合わせると年間3,000人近い方々の生涯教育に役立つ活動をしています。（活動は薬用植物園HPに掲載）



今回は図書館ニュースという事で薬草にまつわる面白い小説をご紹介します。それは梶よう子さんという作家さんが書かれた「柿のへた」という小説で、天保6年に小石川御薬園で薬草を栽培する同心、水上草介の薬草にまつわる物語です。薬学を学んだ方なら一度は耳にした事のある安息香（あんそくこう）や何首烏（かしゅう）、金銀花（キンギンカ）など9つの薬草からなる短編で構成されています。タイトルにもなっている「柿のへた」は古くよりしゃっくりを止める生薬の柿蒂（してい）としても知られ物語の中にも登場します。ほのぼのとした内容で薬草を知らない方にも楽しんで頂けますが、漢方や生薬を勉強した皆様には内容以上に楽しんで頂けると思いますので息抜きに読まれてみてはいかがでしょうか。

書名	著(編)者名	出版社
薬学生のための基礎物理	中山尋量	廣川書店
薬学系学生のための微分積分	内田吉昭, 熊澤美裕紀	ムイスリ出版
化合物命名法: IUPAC 勧告に準拠 第2版	日本化学会命名法専門委員会	東京化学同人
化学安全ノート: 安全な実験室管理のための 第3版	日本化学会	丸善出版
基礎から学ぶ機器分析化学	井村久則, 樋上照男	化学同人
有機金属化学: 基礎から触媒反応まで	山本明夫	東京化学同人
お皿の上の生物学	小倉明彦	築地書館
Human reader 生命科学英語 第2版	児玉典子	京都廣川書店
生物統計・臨床研究デザインテキストブック	山田浩 他	メディカル・パブリケーションズ
分子細胞生物学 第7版	Harvey Lodish 他	東京化学同人
バイオインフォマティクス入門	日本バイオインフォマティクス学会	慶應義塾大学出版会
ノンコーディング RNA (Dojin bioscience series)	廣瀬哲郎, 泊幸秀	化学同人
生物学のための水と空気の物理	Mark W. Denny	NTS
死すべき定め: 死にゆく人に何ができるか	アトゥール・ガワンデ	みすず書房
医学・薬学分野で役立つ統計学の基礎	杉本典夫	プレアデス出版
The history of medicine: a very short introduction	William Bynum	Oxford University Press
学生のための解剖・組織・発生学	諏訪文彦 他	医歯薬出版
骨ペディア: 骨疾患・骨代謝キーワード事典	日本骨代謝学会	羊土社
からだの地図帳解剖学用語	佐藤達夫	講談社
脳内環境: 維持機構と破綻がもたらす疾患研究	高橋良輔 他	メディカルドゥ
コンパス分子生物学 改訂第2版	荒牧弘範, 大戸茂弘	南江堂
薬毒物情報インデックス: drugs and poisons	鈴木修 他	日本医事新報社
基礎からの薬物動態学	池田敏彦, 弓田長彦	みみずく舎
コンパス生物薬理学 改訂第2版	岩城正宏, 伊藤智夫	南江堂
薬剤疫学の基礎と実践 第2版	景山茂, 久保田潔	医薬ジャーナル社
サプリメントと医薬品の相互作用ハンドブック	蒲原聖可 他	医学出版社
どんぐり未来塾の薬物動態マスター術	佐藤ユリ, 麻生敦子	じほう
薬の相互作用としくみ 新版	杉山正康	日経 BP 社
がん哲学外来へようこそ	樋野興夫	新潮社
疾病と病態生理 改訂第4版	市田公美 他	南江堂
薬剤師のための臨床検査の知識 改訂6版	池田千恵子, 笹隈富治子	じほう
好きになる救急医学 第3版	小林國男	講談社
ステロイド: 服薬指導のための Q&A 改訂4版	宮本謙一	フジメディカル出版
ポリファーマシー解決! 虎の巻	青島周一 他	日経 BP 社
意外と知らない!/?くすりの tips	井上祥, 田部井正	メジカルビュー社
薬学における放射線・放射性物質の利用 第4版	加留部善晴	京都廣川書店
薬がみえる	医療情報科学研究所	Medic Media
薬剤過敏症	宇野勝次	南山堂
骨粗鬆症診療ハンドブック 改訂6版	中村利孝, 松本俊夫	医薬ジャーナル社
こころの治療薬ハンドブック 第10版	酒井隆 他	星和書店
在宅医療: 多職種連携ハンドブック	悠翔会	法研
栄養学と食事療法大事典: 栄養ケアプロセスを目指して	L. Kathleen Mahan 他	ガイアブックス
バイオ医薬品と再生医療(臨床薬学テキストシリーズ)	赤池昭紀 他	中山書店
薬学史事典	日本薬史学会	薬事日報社
薬学生・薬剤師のための添付文書徹底活用術	波多江崇 他	薬事日報社
薬と生体の立体構造化学 第2版	田村雅史	京都廣川書店
図解で学ぶ DDS: 薬物治療の最適化を目指す先端創薬技術 第2版	高倉喜信	じほう
医薬品添加剤の処方設計と物性評価	寺田勝英 他	シーエムシー出版
医薬品製造販売指針 2016	レギュラトリーサイエンス学会	じほう
最新製剤学 第4版	竹内洋文 他	廣川書店

(化学・医学・薬学分野より一部抜粋)

『猟師の肉は腐らない』

読書の醍醐味は、自分には絶対にはないだろうと思う人生を疑似体験できることにあると思います。本書では、人里離れた山中での猟師のサバイバル生活が生き生きと描かれています。東京農業大学の名誉教授でもある著者は、発酵学・食品文化学の大家で、漫画「もやしもん」の樹教授のモデルとも言われています。「本当なの?」と思わせる記述も多少ありますが、細かいことはごちゃごちゃ言わずにワイルドな生活を体験してみませんか?

(N.E)

小泉武夫 著 新潮社



『遊ぶ力は生きる力 齋藤式「感育」おもちゃカタログ』

遊びの内容をテレビでも活躍中の齋藤先生が執筆されており、読書、勉強嫌いの方にもお薦めの1冊。『遊びた〜い。』と思いつつ、結局は「ゲームに反射的に動かされているだけ」のような実りの少ない遊びをしていませんか? おもちゃや遊びで子供が育む力について、自分自身に照らし合わせながら読んでいくと、自分が築いてきた力を改めて実感でき、さらに大人としての余暇の使い方を見直すヒントも与えてくれますよ。

(子に育まれている親)

齋藤孝 著 光文社新書



『シェイクスピア 人生の名言』

シェイクスピアの残した数々の名せりふを、作品のあらすじとともに紹介した本です。『リチャード二世』では、叔父のランカスター公が息子(後のヘンリー四世)に「There is no virtue like necessity.」と励まし、「明るく前向きな気持ちを失わない」ことの大切さを説いています。シェイクスピア初心者でもこの本を手に取り、心に響く名せりふをこっそりと見つけてみませんか!

(N.K)

佐久間康夫 著 KKベストセラーズ



『へんな星たち 天体物理学が挑んだ10の恒星』

恒星とはどんなものでしょうか。太陽のように輝いている星で、星座を構成していて、明るさが違ったり、色の赤っぽいものがあったり——太陽以外の恒星は夜空の中ではただの点にしか見えませんから、明るさや色などが違うだけだと思われるかもしれませんが。しかし恒星にも個性があって、変わった姿をしているものや妙な動きをするものも多数あるようです。そんな恒星の中でもとびっきりの変わり者を紹介する楽しい一冊です。

(Y.O)

鳴沢真也 著 講談社



『植物は「知性」をもっている 20の感覚で思考する生命システム』

皆さんは「植物は知性を持っている」と思いますか? アリストテレス、リンネ、ダーウィンなど著名な科学者たちの中でもこの論争は繰り返されてきました。しかし、最近の研究によって植物の優れた能力が発見されて、私たちと同じように見たり聞いたり、さらにはコミュニケーションまで取っていることがわかったというのです。驚くべき「知性」を持った植物の世界をぜひ堪能してください。

(A)

ステファノ・マンクーゾ, アレッサンドラ・ヴィオラ 著 NHK出版

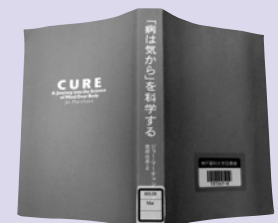


『「病は気から」を科学する』

現代医学は驚くほど進歩を遂げているが、検査の結果に出ないものは無視するという、技術優先の弊害を生んでいる。一方、自然派志向の人々は代替医療をもてはやす。著者は相反する両者をつなぐことで実際の医療現場で、どのような効果がもたらされているかを検証している。プラセボ(偽薬)の効果など興味深い話がたくさんできて、「こころ」がからだにおよぼす影響、脳の動きなどを知り医療に携わることの大切さを感じた。

(N)

ジョー・マーチャント 著 服部由美 訳 講談社



神戸薬科大学図書館 歳時記 Sketches of 2016

図書館といえどいつ来ても代わり映えがしないというイメージがありませんか。実は展示や講習会などいろいろなことを行っています。

毎月の取り組みやイベントを通して図書館の様子をお届けします。

一月

★新ゼミ配属学生向けガイダンス
(通年実施)

二月

・次年度指定参考書受入れ

蔵書点検は、図書館の資料約7万冊を5日間かけて一冊一冊点検していきます



三月

・蔵書点検

★SciFinder利用講習会

参加者の声
(アンケートより)

「大学生としての図書館の
利用の仕方がわかった」
「活用したい」
「よく利用して、苦手な
分野を減らしたい」
新入生

四月

★新入生ガイダンス

・広報誌「図書館ニュース」
「図書館ニュースmini版」発行
・甲南女子大学との相互利用開始

五月

◆展示

「本の中の美術館～図書館で楽しむアート～」

・学生Web選書（前期）

★ガイダンス・講習会



レポート、発表に必要な情報の探し方をはじめ、実際に図書館で資料を見つける、クイズ形式で利用のマナーを理解するなど、学年やテーマに応じて組み立てたガイダンスを行っています
また、外部の専門講師による講習会も随時行っています

六月

★総合文化演習ガイダンス（4～6月）

教員監修による展示です
行き詰ったときに読み
やすい本を集めました

七月

・学術雑誌カタログ発行
・一般雑誌リサイクル（毎年実施）
・国家試験対策本リサイクル（不定期実施）

◆展示

「嫌いな科目へのアレルギーが強い人のために」



◆展示・ワークショップ

図書館に来るきっかけ作り、教養を深める、勉強の息抜きなどを目的にいろいろな展示やワークショップなどのイベントを実施しています



八月

・オープンキャンパス



オープンキャンパスでは、この日限りの資料展示やオリジナルのブックカバーとしおりの配布を行いました

九月

・学術雑誌バックナンバー製本

月刊薬事などの学術雑誌は、長期保存のために数冊まとめた状態で保管します

十月

◆展示「読書マラソン～2007年から現在まで～」

- ・学生Web選書（後期）
- ・図書館オリジナルブックカバー配布
- ・広報誌「図書館ニュースmini版」発行

3つの企画を
「図書館 秋の本まつり」
として開催しました



薬用植物園と医薬細胞生物学研究室による協力のもと図書館オリジナルのブックカバーとしおりを作成しました。2017年も新デザインで配布予定です。

十一月

★スキルアップ講習会

- ①ProQuest Health & Medical Collection利用講習会
 - ②プレゼンテーションスキルアップ講座
 - ③今さら聞けない英語発音の基礎
- ・指定参考書リサイクル（毎年実施）

参加者の声
「図書館でこういうイベントをやっていてびっくりしました！いつもやっているんですか？」
4年生



十二月

◆クリスマスワークショップ
「しおりを作ろう」



5月と10月に開催した「学生Web選書」は、図書館に置いてほしい本を自分で選ぶ企画です。今後も継続して開催する予定です。

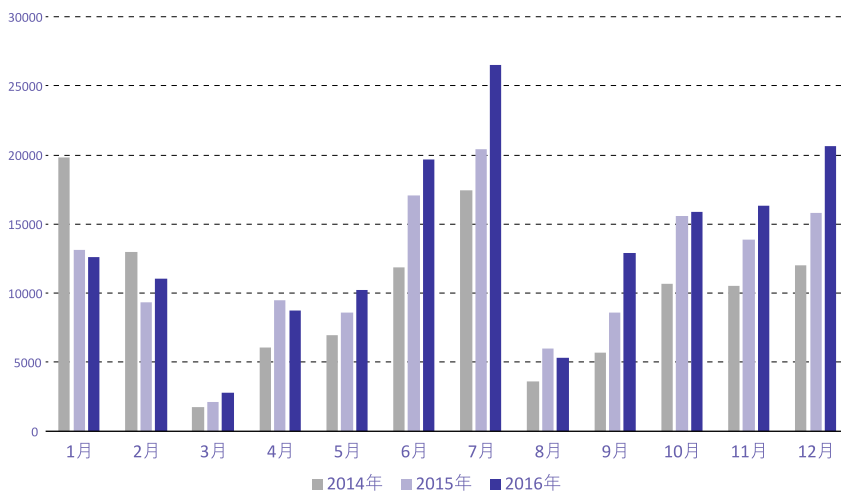
学生Web選書 参加者の声
「友人がおもしろいといっていた本を図書館に入れてもらって、読もうと思ったのが参加のきっかけ。他の人にも広められたらいいなと思います。」
4年生

グラフと表で見る図書館統計

入館者数推移

(単位：人)

	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	合計	前年比
2014年	19,797	13,005	1,773	6,029	6,969	11,850	17,422	3,643	5,712	10,696	10,509	11,990	119,395	
2015年	13,110	9,322	2,148	9,496	8,621	17,090	20,408	5,973	8,564	15,546	13,861	15,805	139,944	117.2%
2016年	12,593	11,019	2,816	8,771	10,189	19,666	26,501	5,312	12,884	15,903	16,341	20,610	162,605	116.2%



ここ3年の図書館入館者数の推移を見ると、明らかに増加の傾向が見られます。

特に2016年は、自習スペースがあった旧8号館の建て替えもあり図書館の自習室利用が増えたことが推測されますが、2015年4月から開始したラーニング・コモンズ（話をしながら学習できるスペース）の影響も大きいと考えられます。

前述のような各種催しも随時行っており、自習以外の目的で図書館を利用する学生が増えています。

薬剤師のためのDI資料 31

『検査値×処方箋の読み方 ーよくあるケースに自信をもって疑義照会する!ー』

増田智先、渡邊裕之、金谷朗子 編 じほう 2016

医薬品の中には、その代謝・排泄経路によって重篤な腎機能障害や肝機能障害などのある患者に対し、禁忌・慎重投与であるものが多数存在する。このため、患者個々に合わせた投与量の適正化や重篤な副作用の回避・早期発見のため、処方箋に検査値を印字し発行している医療機関が急速に増えてきた。

九州大学病院薬剤部では、院外処方箋に印字された臨床検査値を保険薬局薬剤師がどのように理解し、どのように処方監査に活かせばよいか、また、どのような疑義照会を行えばよいかについて、保険薬局薬剤師を対象にグループワークを行いそのノウハウの普及に取り組んできた。本書は、この病

院と地域の保険薬局薬剤師が行ったグループワークで得た知識・経験を基に、検査の特徴とチェックポイントを成人と小児に分け簡潔にまとめ、さらに薬剤師が処方箋を受け取った時に検査値、薬、疾患の関係をどう考えたらよいかを、34症例について検査値の読み方と用量調節基準・処方チェックポイントを示し、疑義照会として分りやすく提示している。本書は、調剤において経験によらず質の高い処方監査の実践と、それに基づく患者個々の医薬品適正使用推進に向けた良書であり、現場の薬剤師のみならず薬学生にもお奨めする。

臨床特命教授 渡 雅克
(薬学臨床教育センター)

2017年度学術雑誌について

●購読中止(電子ジャーナル)

- [1] American Journal of Clinical Nutrition
- [2] Australian Journal of Chemistry
- [3] Biochemical Society Transactions
- [4] Cancer Discovery
- [5] Cancer Epidemiology Biomarkers & Prevention
- [6] Cancer Immunology Research
- [7] Cancer Prevention Research
- [8] Journal of Nutrition
- [9] Molecular Cancer Research
- [10] Molecular Cancer Therapeutics
- [11] Pharmazie

Wiley社の以下3タイトルについて、Pay Per View利用を中止します。

- Asian Journal of Organic Chemistry
- Chemistry An Asian Journal
- EMBO Journal

●新規購読

(和雑誌)

- [1] フレグランスジャーナル

●電子ジャーナルコンソーシアム参加

- [1] American Chemical Society (継続)
- [2] Wiley (継続)
- [3] Nature (継続)
- [4] Oxford University Press (継続)
- [5] Rockefeller University Press (継続)
- [6] Science Online (継続)
- [7] ScienceDirect (継続)
- [8] SpringerLink (継続)
- [9] Thieme (継続)
- [10] Royal Society of Chemistry (継続)

各コンソーシアムによって年毎に利用できるタイトルが変更されることがあります。

エルゼビア社が発行している電子ジャーナルのうち、非購読誌については大学全体で年間200論文までPay Per View利用が可能となります。

お知らせ

- 連載企画「薬剤師のためのDI資料」は、今号から薬学臨床教育センター 渡 雅克先生にご寄稿していただくことになりました。これまでご寄稿いただきました杉山正敏先生に厚く御礼申し上げます。
- 甲南女子大学図書館との相互協力に関する申合せを2016年3月16日付けで締結しました。学生証・教職員証の提示によって甲南女子大学図書館所蔵資料の閲覧・複写ができます。
- フレグランスジャーナル社発行のアロマセラピーと自然療法の専門誌「Aromatopia」の購読を開始しました。
- 学生自身が図書館の図書を選ぶ「学生Web選書2016」を実施し、合計129冊の図書を受け入れました。
- 大判プリンタの予約状況を図書館ホームページから確認できるようになりました。トップページの「大判プリンタ利用」からご覧ください。
- 図書館ホームページの電子ジャーナルリストに「利用の多いジャーナル一覧」を追加しました。本学でよく利用される電子ジャーナルは検索しなくてもこちらからアクセスできます。ぜひご利用ください。